

予約処理等煩雑な手作業の効率化に成功 小規模施設向けシステム「アコモド」導入で

近年、簡易宿泊所や民泊など宿泊施設の小規模化が進んでいる。こうした小規模宿泊施設は、家族経営も多くアナログで、とすればパソコンで自動になりかねない。近年はコンプライアンスが強く求められ、小規模施設といえど、システム化は避けられない。ところが、既存のものは、価格も高く、機能も複雑で導入に二の足を踏む施設も多かった。タップ(東京都江東区)が提案している小規模施設向けシステム「アコモド」は、こうしたマーケットを開拓、実績を高めているのだ。

人員の適材適所で業務の質も向上

「これまでの手作業での予約の処理などに割いていた時間、人員を別の所に回すことが出来き、業務の質も向上して売上も増加しています」。

1棟から数棟の別荘タイプの施設を複数運営しているジョイ(沖縄県那覇市)の東江篤氏はこう話す。同社はタップが提供している

「accommod(アコモド)」を導入、業務効率化に成功させた。

ジョイでは以前、エクスセルの帳簿を使って

予約が入る度に1件1件手作業で入力をして管理をしていた。その

為、予約の処理が追いつかず先の予約の状況がリアルタイムで見られないことや、ゲストからの空室の問い合わせにも即座に対応出来ず、売り上げも別のエクスセルで月報を作成し

て管理しなくてはならないなどの業務上の問題がいくつも発生していた。

このため、同社ではいくつかのホテルシステムについて検討

したが、小規模施設を複数運営しているものとしては、1施設毎での契約になってしま

つとや管理画面も別になってしまつこと、1施設あたり

でコストが発生することなどの面からも導入することが難しい状況で頭を悩ませていたという。

タップが開発・販売「アフターフォロー」も

そこで導入したのがタップの「アコモド」だった。

このシステムは、100%ウェブシ



タップ代表取締役 清水吉輝氏

テムのため、インターネット環境があれば、「部屋の使用状況」「清掃状況」といった日常業務や売り上げ管理・顧客管理がPCやタブレットで行うことができ

る。チェックイン時では、タブレット内にサインしてもらっただけで宿泊台帳として利用できるほか、

チェックアウト時にはプリンターからレシートを発行することで会計をスムーズに行うことも可能だ。

また、自社ホームページで直接宿泊プランを販売することもできる。受け付けた予約を転記する必要もなく、

ミスを防ぐこともできるようになる。サイトコメントローラー経由で宿泊予約も取り込めるため、

予約管理にかかる手間を大幅に削減できるという。

予約を受ける際でも、24時間・365日いつでも宿泊予約ができるだけでなく、クレジットの事前決済にも対応するため、直前キャンセルやノーショウの抑制にも繋がる。英語・中国語・韓国語にも対応でき、インバウンド獲得にも効果を上げることがも期待されている。

結果、「アコモド」の導入により、予約の管理は全て自動でシステムに入り、またクラウドであることから外出先や営業所が違っても、空室確認、予約状況の

確認が出来て、これまで行っていた業務を大幅に効率化することが可能になりました(東江氏)。

タップは導入施設に入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導

入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導

入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導

入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導

入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導

入した後もどんどん、対してもフォローアップにも注力。「施設のて更に使いやすくなく声をきちんと開発に反映を行なって頂き、導



▶伝統的民家・益シロシロカン



▶北谷シャール邸